

平成21年度感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 平成21年4月15日報告分から21年6月29日までに報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤24件である。輸血用血液製剤の内訳は、
 - B型肝炎報告事例： 6
 - C型肝炎報告事例： 10
 - HIV感染報告事例： 0
 - その他の感染症報告事例： 8
- B型肝炎報告事例
 - 輸血前後に感染症検査でHBs抗原（又はHBV-DNA）等が陽転した事例は3例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は1例）。
 - 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は1例。
 - 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例（劇症化例を含む。）である。
- C型肝炎報告事例
 - 輸血前後に抗体検査（又はHCV-RNA）等が陽転した事例は8例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は2例）。
 - 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 - 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
- HIV報告事例
 - 輸血前後に抗体検査等が陽転した事例は0例。
 - 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 - 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
- その他感染症報告事例
 - B型肝炎及びC型肝炎以外の肝障害報告事例は1件。
 - 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例。輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。

※症例一覧表において、事前発送資料からの修正・更新点は赤字で表記した。

日赤番号	漢字番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	供用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及 の場合の供血 者保管検体 (抗原・抗体、 NAT)(投与時 点)	供血者発症及 の場合の供血 者の検査値
輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)																								
供血者陽性事例																								
3-0904	A-0004	2009/6/10	2009/6/22	人赤血球濃厚液-LR 新鮮凍結人血漿-LR	男	60	慢性肝炎 B型肝炎	08/12	HBsAg(-) (08/12) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAb(-) IgM-HBsAb(-) (08/12)	HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) IgM-HBsAb(-) (09/06)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAb(-) (08/12)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(+) HBsAb(+) (09/06)	陰性(輸血前)陽性(輸血後)	保管検体12本HBV-DNA(-) 1本HBV-DNA(+) 保管検体陽性の献血者に再献血はしない。	陽性となった当該輸血用血液と同一供血者番号の製剤として1本の原料血漿があり、確認済み。	16単位 10単位	7/136人はHBV関連検査陰性、1人はHBsAbのみ陽性であり当該献血においても同様であった。	8本の原料血漿、5本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿は全て確認済み。	赤血球濃厚液-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	未回復	患者検体と献血者(HBV陽性保管検体)とのHBV塩基配列の相同性について調査予定		
陽転事例																								
3-0902	A-0900	2009/4/16	2009/5/1	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	血液腫瘍 B型肝炎	03/10-12/08/06-12/03/09	HBsAg(-) (03/09)	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(+) HBsAb(+) (09/04)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(+) HBsAb(+) (08/06)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(+) HBsAb(+) (09/04)	陰性(輸血後)	保管検体7本全部HBV-DNA(-)		6単位 8単位	2/7(HBV関連検査陰性)	6本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は1本確認済み。	原料血漿5本は使用済み。新鮮凍結血漿、新鮮凍結血漿-LRは医療機関へ供給済み。	非重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	患者年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者両献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及 の場合の供血 者保管検体 (抗原、抗体、 NAT)(投与時 点)	供血者発症及 の場合の供血 者の検査値	
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																										
3-0900008	A-09000026	2009/4/17	2009/5/1	人血小 球濃厚 液(放射 線照射) 人赤血 球濃厚 液(放射 線照射) -LR	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	09/02-03 09/02-03	HBsAg(-) HBsAb(-) (09/01)	HBsAg(-) HBsAb(-) (09/03)	HBV-DNA(+) (09/01)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) (09/04)	陽性(輸血前)陽性(輸血後)	保管検体29本全部HBV-DNA(-)			170単位 22単位	1/29(HBV陽性検査陰性)	25本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は全て確認済み。新鮮凍結血漿-LRは全て確認済み。		重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者両献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及 の場合の供血 者保管検体 (抗原、抗体、 NAT)(投与時 点)	供血者発症及 の場合の供血 者の検査値	
陽転未確認事例																										
3-0900047		2009/6/17		人赤血球濃厚液-LR 新鮮凍結人血漿-LR	男	60	血液腫瘍 糖尿病	B型肝炎	08/12	HBsAg(-) (08/11)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) IgM-HBsAb(+) (09/06)	調査中	調査中	HBV関連検査実施予定	保管検体22本についてHBV-NAT実施予定			32単位 30単位	調査中	調査中	調査中	重篤	調査中			
3-0900048		2009/6/17		人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 人赤血球濃厚液-LR	男	60	肝・胆膵腫瘍	B型肝炎	08/12 09/04	HBsAg(-) (08/09)	HBV-DNA(-) (09/03) HBsAg(+) (09/05) HBsAb(-) HBsAb(+) HBsAb(+) (09/05)	調査中	調査中	HBV関連検査実施予定	保管検体5本についてHBV-NAT実施予定			6単位 2単位	調査中	調査中	調査中	非重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発症及 の場合の供 血者保管検 体(抗原、抗 体、NAT)(投 与時点)	献血者発症及 の場合の供 血者の検査値																							
3-0900049		2009/6/19		人血小 球濃厚 液(放射 線照射)	女	20	血液 疾患 腎・泌 尿系 疾患 消化 器疾 患	B 型 肝 炎	08/07- 09/05	HBV- DNA(-) HBsAg(-) (08/11) HBsAg(+) HBcAb(+) IgM- HBcAb(+) (09/05) HBsAg(+) HBcAb(+) IgM- HBcAb(+) (09/06) HBsAg(+) HBcAb(-) HBcAb(-) HBcAb(+) IgM- HBcAb(+)	調査中	調査中	HBV関連検 査実施予定	保管検体1 本について HBV- DNA(-)		20単 位		1本の原料血 漿を製造、原 料血漿は使用 の有無を調査 中。	調査中	重篤	未回復	当該 08年9月1 日 HBV関連検 査適合(選及調 査)個別NAT HBV-DNA(-) 次回 08年9 月15日 HBV関 連検査適合(選 及調査)個別 NAT HBV-DNA (+) 次次回 08 年10月25日スク リーニングNAT (HBV陽性 陽 転献血																									
輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)																																															
献血者陽性事例																																															
(該当例なし)																																															
陽転事例																																															
3-0900034	A-0900032	2009/5/18	2009/6/1	新鮮凍 結人血 漿-LR 新鮮凍 結人血 漿 人血小 球濃厚 液(放射 線照射) 人赤血 球濃厚 液-LR	男	40	血液 腫瘍	C 型 肝 炎	09/04 09/04 09/04 09/04	HCV-Ab (-) (09/04)	HCVコア Ag(+) (09/05)	-	HCV- RNA(-) (09/04) HCV- RNA(-) (09/04) HCV- RNA(+) (09/05)	陽性(輸血 後)	保管検体 29本全部 HCV- RNA(-)		2単位 15単位 170単位 24単位	5/29(HCV関連 検査陰性)	22本の原料血 漿、3本の新鮮 凍結血漿-LR、 1本の赤血球 濃厚液-LRを 製造。原料血 漿、新鮮凍結 血漿-LRは全 て確保済み。	赤血球濃厚液 -LRは医療機 関へ供給済 み。	重篤	未回復																									

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	患者年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発症及 の場合の献血 者保管検体 (抗原、抗体、 NAT)(投与時 点)	献血者発症及 の場合の献血 者の検査値
3-0900035	A-0900033	2009/5/19	2009/6/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	20	外傷・整形外科的疾患	C型肝炎	03/04	HCV-Ab(-) (03/04)	HCV-Ab(+) (09/05)	-	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (09/05)	陽性(輸血後)	保管検体6本全部 HCV-RNA(-)			8単位	4/6(HCV関連検査陽性)	2本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。	重篤	不明		
3-0900039	A-0900037	2009/5/25	2009/6/9	人赤血球濃厚液(放射線照射) -LR 人赤血球濃厚液-LR	男	60	調査中	C型肝炎	08/06	HCV-Ab(-) (08/05)	HCV-RNA(-) HCVコアAg(+) (09/05)	-	HCV-RNA(-) (08/8) HCV-RNA(+) (09/05)	陽性(輸血後)	保管検体7本について HCV-RNA(-)			12単位 2単位	5/7(HCV関連検査陽性)	5本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は使用の有無を調査中。	新鮮凍結血漿-LRは全て医療機関へ供給済み。	非重篤	調査中		
3-0900040	A-0900038	2009/5/26	2009/6/9	人赤血球濃厚液(放射線照射) -LR	女	30	消化器疾患 血液疾患	C型肝炎	08/11- 09/02	HCV-Ab(-) (05/06)	HCV-RNA(-) (09/03) HCV-Ab(+) HCVコアAg(-) (09/04) HCV-RNA(-) (09/05)	HCV-RNA(-) (08/11) HCV-Ab(+) (09/02) HCV-RNA(-) (09/03)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体4本について HCV-RNA(-)			8単位	2/4(HCV関連検査陽性)	4本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	-	非重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発源及 の場合の供血 者保管抗体 (抗原、抗体、 NAT) (投与時 点)	供血者発源及 の場合の供血 者の検査値	
3-0900000004 1 39	A-0900000039	2009/6/8	2009/6/22	人赤血球濃厚液-LR	男	80	外傷・整形外科的疾患	C型肝炎	09/01	HCV-Abs(-) (09/01) HCVコアAg(-) (09/01)	HCV-Abs(-) (09/05) HCV-RNA(-) (09/01)	HCV-RNA(+) HCV-Abs(+) (09/06)	陰性(輸血前)陰性(輸血後)	保管抗体1本についてHCV-RNA(-)				2単位	0/1	1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。	—	重篤	未回復			
3-0900000004 2 40	A-0900000040	2009/6/8	2009/6/22	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	生殖器腫瘍	C型肝炎	09/02	HCVコアAg(-) (09/02) HCVコアAg(+) (09/05)	HCV-Abs(-) (09/02) HCVコアAg(-) (09/05)	HCV-RNA(+) HCV-Abs(-) (09/06)	陽性(輸血前)陰性(輸血後)	保管抗体2本(全部)HCV-RNA(-)				4単位	0/2	2本の原料血漿を製造、原料血漿はすべて確保済み。	—	非重篤	未回復			
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																										
3-0900000001 1 28	A-0900000028	2009/4/28	2009/5/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	外傷・整形外科的疾患	C型肝炎	08/12	HCVコアAg(-) (08/12) HCV-Abs(-) (08/12) HCV-RNA(-) (09/04) HCV-Abs(+) (09/04)	HCV-Abs(-) (08/03) HCV-Abs(+) (09/04) HCV-RNA(-) (09/04) HCV-Abs(+) (09/04)	HCV-RNA(-) HCV-Abs(+) (09/05)	陰性(輸血前)陰性(輸血後)	保管抗体2本(全部)HCV-RNA(-)	人血清アルブミン		4単位	0/2	2本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。	—	非重篤	不明				
3-0900000004 5 44	A-0900000044	2009/6/15	2009/6/26	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	40	腎・泌尿器系疾患	C型肝炎	09/02-04	HCV-Abs(-) (09/02) HCVコアAg(-) (09/02) HCV-Abs(+) (09/06)	HCV-RNA(-) (09/02) HCV-Abs(-) (09/06)	HCV-RNA(-) HCV-Abs(-) (09/05)	陰性(輸血前)陰性(輸血後)	保管抗体8本(全部)についてHCV-RNA(-)			14単位	1/8(HCV関連検査陰性)	8本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造、原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。	—	非重篤	未回復				

23

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 室(年月)	投与後検査 室(年月)	日赤投与前 検査	日赤投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別 NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発源及 の場合の供血 者保管抗体 (抗原、抗体、 NAT) (投与時 点)	供血者発源及 の場合の供血 者の検査値
隔転未確認事例																									
3-0900050		2009/6/25		人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	60	消化器疾患	C型肝炎	09/02	HCV-Abs(-) (09/02)	HCVコアAg(+) HCV-Abs(+) (09/06)	調査中	調査中	HCV関連検査実施予定	保管抗体4本についてHCV-NAT実施予定			8単位	0/4	4本の原料血漿を製造、原料血漿は使用の有無を調査中。	調査中	非重篤	調査中		
3-0900051		2009/6/29		人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	40	脳疾患	C型肝炎	08/01 09/02	HCV-Abs(-) (07/12)	HCV-Abs(-) (08/02) HCV-Abs(+) (09/02)	調査中	調査中	HCV関連検査実施予定	保管抗体2本についてHCV-NAT実施予定			4単位	調査中	調査中	調査中	重篤	未回復		
輸血によるHIV感染報告例(疑い例を含む。)																									
(該当例なし)																									
輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)																									
3-0900000029	A-0900000027	2009/4/27	2009/5/8	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	血液腫瘍疾患	細菌感染	09/04			使用済みバッグによる細菌培養試験を実施、陰性。セグメントチューブによるエンリッチメント検査も陰性。血圧測定で、非溶血性副作用はなかった。院内にて患者血液培養実施、陰性。						2単位		1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。		重篤	回復		
細菌培養: 採血8日目の照射赤血球濃厚液-LR(1本) 調査結果を受けて担当医より「細菌感染と輸血血液の因果関係はないと考えられる」とのコメントが得られた。																									

試行的HEV20プールNAT実施状況について

(輸血後HEV感染の予防対策)

1. 試行的HEV20プールNAT実施状況

北海道赤十字血液センター管内
調査期間：平成 17 年 1 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日

	献血者数	HEV-RNA 陽性	陽性率
H17. 1~H18. 2 ^{*1}	341, 174	45	1/7, 582
H18. 3~H21. 5 ^{*2}	867, 757	106	1/8, 186
合計	1, 208, 931	151	1/8, 006

*1 北海道センターにてNAT実施(ALT高値、検査不合格検体も含む)

*2 血漿分画センサーにてNAT実施(ALT高値、検査不合格検体は除く)

2. HEV-RNA 陽性献血者の内訳

別添

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年代	原疾患	慢性疾患	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別別	献血者個別別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血量	同一供血量者製剤確保率	同一供血量者製剤使用率	感染等転帰	転帰	供血量者発症及 の場合の供血量者 (抗原、抗体、 NAT)(投与時点)	供血量者発症及 の場合の供血量 者の検査値
3-0900038	A-0900036	2009/5/25	2009/6/8	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	30	免疫疾患その他疾患?	ヒトパルボウイルスB19感染疑い	09/03	IgG-B19-Abs(+) (08/11)	顆粒球減少 (09/04) 顆粒球減少回復 (09/04) 顆粒球減少 B19-DNA(-) IgM-B19-Abs(-) IgG-B19-Abs(+) (09/04) B19-DNA(-) (09/04) 顆粒球減少回復 (09/04)	調査中	調査中	ヒトパルボウイルス関連検査実施予定	保管検体1本についてヒトパルボウイルス関連検査実施予定			2単位	1	1本の原料血漿を製造、原料血漿は使用の有無を調査中。	調査中	重篤	回復		
3-0900043	A-0900041	2009/6/9	2009/6/22	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	70	その他の疾患呼吸器疾患腎・泌尿器疾患	E型肝炎	08/08	AST 1533 ALT 1336 (08/08)	HEV-RNA(-) IgM-HEV-Abs(-) IgG-HEVAb(-) (08/8)	HEV-RNA(+) IgM-HEV-Abs(+) IgG-HEVAb(+) (08/10)	陰性(輸血前)陽性(輸血後)	保管検体1本についてHEV-RNA(+) IgM-HEVAb(-) IgG-HEVAb(+)	*国内血漿分離製造販売業者による血漿分離製剤の製造に係わる原料血漿の検査において判明した献血者HEV-RNA陽性情報に対しての症例報告		2単位	献血者3ヶ月後に再発 HEV-RNA(-) IgM-HEVAb(+) IgG-HEVAb(+)	1本の原料血漿を製造。	原料血漿は国内血漿分離製造業者へ送付済み。	非重篤	回復		患者検体と献血者(HEV陽性保管検体)とのHEV塩基配列の相関性について調査予定	

2. HEV-RNA陽性者の内訳

調査期間: 2005年1月1日～2009年5月31日

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		選及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
1	2005/01/04	32	M	57	—	—	+	無	不明レバー	生	無	
2	2005/02/07	38	F	11	—	—	+	無	ブタレバー	生	無	
3	2005/02/13	41	M	103	—	—	+	無	回答なし		無	
4	2005/03/25	65	F	17	—	—	+	無	回答なし		無	
5	2005/03/27	26	M	38	—	—	+	有	不明レバー(問診時)	生	有	赤血球製剤破壊のため院内廃棄
6	2005/04/10	54	F	20	—	—	+	無	ウシ精肉	半生	無	
7	2005/04/15	59	F	16	—	—	+	無	ブタホルモン、シカ精肉	十分加熱	無	
8	2005/04/15	35	F	16	—	—	+	無	シカ精肉、ウシ精肉 ウシレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
9	2005/04/20	25	M	24	+	+	+	無	ウシレバー、ウシ精肉 ウシホルモン、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	感染なし
10	2005/04/28	22	M	44	—	—	+	無	回答なし		無	
11	2005/06/07	42	M	24	+	+	+	無	ウシ精肉 ウシホルモン、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
12	2005/06/22	51	M	52	—	—	+	無	回答なし		無	
13	2005/07/03	58	M	219	+	+	+	無	不明レバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
14	2005/07/05	22	M	23	+	—	+	無	回答なし		無	
15	2005/07/05	38	M	15	—	—	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	半生	無	
16	2005/07/13	24	M	19	—	—	+	無	ウシレバー	生	有	原疾患により死亡
17	2005/09/02	33	M	49	—	—	+	無	ウシ精肉 ヒツジ精肉 ブタホルモン、ブタ精肉	生 半生 十分加熱	無	
18	2005/09/01	29	F	100	+	+	+	無	ウシホルモン、ヒツジ精肉 ウシレバー、ウシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
19	2005/09/20	42	M	31	—	—	+	無	ブタホルモン、不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	HEV感染(H17.11.1 運営委員会報告済み)
20	2005/09/27	20	F	10	—	—	+	無	ウシ精肉、ブタホルモン、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
21	2005/10/21	41	M	12	—	—	+	無	回答なし		無	
22	2005/10/25	44	F	38	+	+	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
23	2005/11/07	30	F	21	—	—	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ヒツジ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
24	2005/11/07	31	F	12	+	+	+	有	ブタレバー、ブタホルモン、ウシ精肉	十分加熱	無	
25	2005/11/20	28	M	47	+	+	+	有	ウシレバー、ウマ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	生 十分加熱	無	
26	2005/11/29	35	F	333	+	+	+	有	回答なし		無	
27	2005/12/13	42	M	30	—	—	+	有	ウシ精肉、ヒツジ精肉 不明レバー、ブタ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
28	2005/12/13	30	M	11	—	—	+	有	不明レバー	十分加熱	有	HEV感染(H18.01.26 運営委員会報告済み)
29	2005/12/22	62	F	14	—	—	+	無	回答なし		無	
30	2005/12/27	42	F	14	—	—	+	無	回答なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		選及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
31	2006/01/02	22	F	12	—	—	+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/08	68	M	23	—	—	+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	36	M	42	—	—	+	無	ウマ精肉、不明レバー ウシ精肉、ヒツジ精肉 ウシレバー、ブタ精肉、ブタホルモン	生 半生 十分加熱	無	
34	2006/01/18	53	M	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	M	43	—	—	+	有	不明レバー ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	M	25	—	—	+	無	回答なし		無	
37	2006/01/25	52	M	25	—	—	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	—	—	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	M	32	—	—	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	—	+	+	有	ウシレバー ウシレバー ヒツジ精肉	生 半生 十分加熱	無	
41	2006/02/07	57	M	13	—	—	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	M	28	—	—	+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉 イノシシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	M	22	—	—	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	M	30	—	—	+	無	ウシ精肉 ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
46	2006/03/01	46	F	15	—	—	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	—	—	+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	M	47	+	+	+	無	ウシ、ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	—	—	+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	—	—	+	無	ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	—	—	+	無	ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	M	45	+	+	+	無	ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	M	26	—	—	+	無	ウシ精肉、ウシホルモン ウシ精肉、ウシホルモン	半生 十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	M	14	+	+	+	無	回答なし		無	
55	2006/04/26	46	M	19	—	—	+	無	ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	M	27	—	—	+	無	ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	M	33	—	—	+	無	回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10	—	—	+	無	回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27	—	—	+	無	回答なし		無	
60	2006/07/22	49	M	46	+	—	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		避及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
61	2006/08/01	62	M	18	—	—	+	△	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
62	2006/09/06	44	F	14	—	—	+	△	喫食歴なし		無	
63	2006/09/29	68	M	15	—	—	+	△	ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
64	2006/10/21	29	M	22	—	—	+	△	不明		無	
65	2006/11/19	48	M	58	—	—	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
66	2006/11/23	54	M	18	—	—	+	△	回答なし		無	
67	2006/12/01	43	M	55	—	+	+	△	ブタ精肉	十分加熱	無	
68	2006/12/04	60	M	46	+	+	+	△	ウシ精肉	十分加熱	無	
69	2006/12/04	47	M	40	+	+	+	△	ウシ精肉、ウシホルモン	十分加熱	無	
70	2007/03/01	33	M	41	—	—	+	△	ウシレバー	生	無	
71	2007/03/15	42	M	32	—	+	+	△	ブタレバー、ブタホルモン	半生	無	
72	2007/03/27	55	M	30	—	—	+	△	不明レバー	十分加熱	無	
73	2007/04/07	22	F	9	—	—	+	△	ユッケ ウシホルモン、ヒツジホルモン	生 十分加熱	無	
74	2007/05/16	47	F	15	—	—	+	△	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
75	2007/05/18	40	F	27	+	+	+	△	ブタ生ハム(自家製)	半生	無	
76	2007/05/30	33	M	26	—	+	+	△	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
77	2007/06/22	38	M	20	—	—	+	△	ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
78	2007/06/25	45	M	37	+	+	+	△	ブタ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
79	2007/06/27	37	M	18	—	—	+	△	ブタ精肉	十分加熱	無	
80	2007/07/24	57	M	24	—	—	+	△	喫食歴なし		無	
81	2007/07/29	37	M	48	—	—	+	△	不明レバー、ブタホルモン 不明レバー、ブタホルモン	十分加熱 半生	無	
82	2007/07/31	48	M	30	—	—	+	△	ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
83	2007/08/01	48	M	33	—	—	+	△	ブタ精肉 ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
84	2007/08/04	53	M	28	—	—	+	△	ヒツジ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
85	2007/08/26	50	M	60	—	—	+	△	ヒツジ精肉 ウシ精肉	十分加熱 生	無	
86	2007/09/05	41	M	29	—	—	+	△	喫食歴なし		無	
87	2007/09/18	41	M	23	—	—	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉、ウシホルモン、ブタホルモン	半生	無	
88	2007/09/21	57	M	19	—	—	+	△	ブタホルモン	十分加熱	無	
89	2007/10/03	59	M	39	—	—	+	△	ブタレバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
90	2007/10/03	19	M	40	—	—	+	△	喫食歴なし		無	

31

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		避及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
91	2007/10/09	35	M	19	—	—	+	△	ブタ精肉	十分加熱	無	
92	2007/10/18	30	M	31	—	—	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
93	2007/11/16	24	M	5	—	—	+	△	不明		無	
94	2007/11/16	54	M	22	—	+	+	△	ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
95	2007/11/18	45	M	47	—	—	+	△	ブタ精肉 ブタレバー	十分加熱 半生	無	
96	2007/11/19	58	M	13	—	—	+	△	レバー、ホルモン	不明	無	
97	2007/11/19	24	M	46	—	—	+	△	不明		無	
98	2007/11/24	36	M	25	—	—	+	△	不明		無	
99	2007/11/29	42	M	21	—	+	+	△	不明		無	
100	2007/11/30	31	M	42	+	+	+	△	レバー	不明	無	
101	2008/01/08	35	M	36	—	—	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
102	2008/01/17	48	F	13	+	+	+	△	ブタホルモン、シカ精肉 ウシ精肉	十分加熱 半生	無	
103	2008/01/29	57	M	22	—	—	+	△	ブタレバー、ブタホルモン	十分加熱	無	
104	2008/02/04	31	M	47	+	+	+	△	不明		無	
105	2008/02/06	57	M	20	—	—	+	△	ブタホルモン	十分加熱	無	
106	2008/02/13	42	M	35	—	—	+	△	不明レバー	十分加熱	無	
107	2008/02/13	60	M	37	+	+	+	△	不明		無	
108	2008/03/11	30	M	21	—	—	+	△	不明		無	
109	2008/03/25	34	F	28	—	—	+	△	喫食歴なし		無	
110	2008/03/26	32	M	41	+	+	+	△	ブタ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
111	2008/03/29	54	M	26	—	—	+	△	ブタ精肉	十分加熱	無	
112	2008/03/30	19	F	9	—	—	+	△	不明レバー	十分加熱	無	
113	2008/04/16	48	M	13	—	—	+	△	不明		無	
114	2008/05/12	33	M	12	—	—	+	△	ブタ精肉、ブタホルモン	半生	無	
115	2008/05/28	39	F	29	—	—	+	△	不明		無	
116	2008/05/28	47	M	46	—	—	+	△	ブタホルモン	十分加熱	無	
117	2008/06/04	43	M	38	+	+	+	△	ウシレバー ウシホルモン、ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	生 十分加熱	無	
118	2008/06/07	42	M	11	—	—	+	△	ウシレバー ブタ精肉	生 十分加熱	無	
119	2008/06/23	48	M	17	—	—	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生	無	
120	2008/07/10	39	M	32	—	—	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉 ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	

32

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		避及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
121	2008/07/11	39	M	28	-	-	+	△	不明		無	
122	2008/07/26	34	M	35	-	-	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
123	2008/07/27	36	M	45	-	-	+	△	不明		無	
124	2008/07/30	24	M	10	-	-	+	△	不明		無	
125	2008/08/20	19	M	17	+	-	+	△	不明		無	
126	2008/09/03	30	M	28	-	-	+	△	不明		無	
127	2008/09/08	35	M	16	-	-	+	△	不明		無	
128	2008/09/09	23	F	24	-	-	+	△	ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
129	2008/09/16	33	F	18	+	+	+	△	不明		無	
130	2008/09/16	58	M	21	-	-	+	△	不明		無	
131	2008/09/17	62	M	37	-	-	+	△	ウシレバー、ブタレバー	十分加熱	無	
132	2008/09/23	42	M	36	-	-	+	△	ブタ精肉、ブタレバー	十分加熱	無	
133	2008/09/25	35	M	16	-	-	+	△	不明		無	
134	2008/09/27	30	M	22	-	-	+	△	不明		無	
135	2008/10/10	50	M	31	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	不明	無	
136	2008/10/11	39	F	15	-	-	+	△	ウマ精肉	生	無	
137	2008/10/14	56	M	13	-	-	+	△	不明レバー	生	無	
138	2008/10/18	38	F	23	-	-	+	△	不明		無	
139	2008/11/03	37	M	22	-	-	+	△	ウシホルモン、ブタ精肉	半生	無	
140	2008/11/11	41	F	11	-	-	+	△	不明		無	
141	2008/12/05	52	M	18	-	-	+	△	ブタレバー	十分加熱	無	
142	2008/12/20	47	M	22	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
143	2009/01/13	50	M	27	-	-	+	△	ウシ・ブタ(精肉、レバー、ホルモン)	十分加熱	無	
144	2009/01/27	55	M	17	-	-	+	△	不明		無	
145	2009/02/11	37	M	28	-	-	+	△	不明ホルモン	十分加熱	無	
146	2009/02/16	59	F	23	-	-	+	△	ブタレバー	不明	無	
147	2009/02/23	20	F	42	-	+	+	△	ウシ、ブタ精肉	半生	無	
148	2009/03/11	29	M	49	-	-	+	△	ブタレバー、ホルモン	十分加熱	無	
149	2009/04/16	35	F	29	-	-	+	△	ウシレバー ウシ・ブタホルモン	生 半生	無	
150	2009/04/24	36	F	42	-	-	+	△	不明ホルモン	不明	無	
151	2009/04/27	45	M	50	-	-	+	△	不明	不明	無	

※1: 問診喫食歴調査内容

05年1月1日～05年10月31日: 「過去3ヶ月以内にブタ、シカ、イノシシあるいは動物種不明の生肉、生レバーの喫食歴」

05年11月1日～06年03月31日: 「過去3ヶ月以内に生肉(半生も含む)、レバー、ホルモン(動物種、焼き方を問わず)の喫食歴」、なお本調査は06年03月31日をもって終了

33

日本赤十字社血液事業本部 御中

薬事・食品衛生審議会血液事業部会事務局
厚生労働省医薬食品局血液対策課

事務連絡
平成21年6月23日

血液製剤に関する報告事項について

血液事業の推進に御努力いただき、厚く御礼申し上げます。
さて、標記につきましては、平成21年4月21日付け血安第185号にて貴社から報告を頂いたところですが、平成21年7月28日(火)に平成21年度第2回血液事業部会運営委員会が開催されますので、下記の事項について資料を作成いただき、平成21年7月3日(金)までに当事務局まで御提出いただきますようお願いいたします。記の11については、平成21年5月14日開催平成21年度第1回血液事業部会運営委員会提出資料を更新のうえ、再度御提出ください。
なお、資料の作成に当たっては、供血者、患者及び医療機関の名称並びにこれらの所在地又はこれらの事項が特定できる情報を記載しないよう、個人情報及び法人情報の保護に特段の御配慮をお願いします。

記

- 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でH1Vの感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る7人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

査結果。来訪がなければ、その旨。

血 安 第 2 7 2 号
平成 2 1 年 7 月 3 日

5. 平成 1 7 年 2 月 4 日付けで報告された輸血用血液製剤で H B V (B 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 1 人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

6. 平成 1 7 年 6 月 2 3 日付けで報告された輸血用血液製剤で H B V (B 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 4 人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

7. 平成 1 8 年 4 月 7 日付けで報告された輸血用血液製剤で H B V (B 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 9 人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

8. 平成 1 8 年 6 月 5 日付けで報告された輸血用血液製剤で H B V (B 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 1 人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

9. 平成 1 9 年 2 月 2 0 日付けで報告された輸血用血液製剤で H B V (B 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 1 人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

1 0. 平成 1 8 年 2 月 1 5 日報告、3 月 8 日付けで追加報告された輸血用血液製剤で H C V (C 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 3 人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

1 1. 試行的 H E V 2 0 プール N A T について、その後の調査実施状況。

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社
血液事業本部長

血液製剤に関する報告事項について (回答)

平成 2 1 年 6 月 2 3 日付事務連絡によりご依頼のありました標記の件については、下記のとおり資料を作成しましたので報告いたします。

記

1. 平成 1 5 年 9 月 5 日付けで報告された輸血用血液製剤で H I V の感染が疑われる事例について、残る 2 人のその後の来訪なし。(8 名中 6 名が来所、検査は全て陰性)
2. 平成 1 6 年 3 月 2 2 日付けで報告された輸血用血液製剤で H B V (B 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 5 人のその後の来訪なし。(3 7 名中 3 2 名が来所、検査は全て陰性)
3. 平成 1 6 年 1 1 月 2 6 日付けで報告された輸血用血液製剤で H B V (B 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 7 人のその後の来訪なし。(4 8 名中 4 1 名が来所、検査は全て陰性)
4. 平成 1 7 年 1 月 1 2 日付けで報告された輸血用血液製剤で H B V (B 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 4 人のその後の来訪なし。(1 6 名中 1 2 名が来所、検査は全て陰性)
5. 平成 1 7 年 2 月 4 日付けで報告された輸血用血液製剤で H B V (B 型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 1 人のその後の来訪なし。(追跡調査対象の 4 名中 3 名が来所、H B V - D N A は全て陰性。1 名は H B c 抗体が E I A 法のみ陽性 H I 法陰性、その他の者は全て陰性)

6. 平成 17 年 6 月 23 日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 4 人のその後の来訪なし。(20 名中 16 名が来所、検査は全て陰性)
7. 平成 18 年 4 月 7 日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 9 人のその後の来訪なし。(53 名中 44 名が来所、HBV-DNA は全て陰性。2 名は HBe 抗体及び HBs 抗体陽性、1 名は HBs 抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性)
8. 平成 18 年 6 月 5 日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 1 人のその後の来訪なし。(29 名中 28 名が来所、HBV-DNA は全て陰性。2 名は HBe 抗体及び HBs 抗体陽性、1 名は HBs 抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性)
9. 平成 19 年 2 月 20 日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 1 人のその後の来訪なし。(3 名中 2 名が来所、検査は全て陰性)
10. 平成 18 年 2 月 15 日報告、3 月 8 日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV (C型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る 3 人のその後の来訪なし。(81 名中 78 名が来所、検査は全て陰性)
11. 試行的HEV20ブールNATについて、その後の調査実施状況については別紙のとおり。

安全対策業務の流れ

